

## 朝鮮有事事態と難民問題セミナー ②

北朝鮮はミサイルの弾頭に水爆を搭載するための核実験に成功したと宣伝し、アメリカに対して恫喝を加えている。安保理はさらなる制裁強化を全会一致で可決した。しかし猛反発する北朝鮮は、これからは核実験、ミサイル発射を続ける態度を変えていない。アメリカは軍事攻撃のオプションを捨てていない。北朝鮮はアメリカからの攻撃があれば韓国、日本への攻撃を隠さない。北東アジアの緊張はこれまでにない高まりがあり、予断を許さない。国民は不安に駆られている。北朝鮮有事とは何が起き、日本に何が起きるのか。どう対応すべきか認識の共有が必要だ。その時北朝鮮国内では何が起きるのか。かつて北朝鮮の収容所の警備兵だった安明哲氏を講師に迎えて、有事に政治犯を絶滅するマニュアルを聞く。また東京入国管理局長であった水上洋一郎氏から大量のベトナム難民を受け入れた日本の経験を聞く。

日時 10月28日(土) 13:00-16:00 場所:人権ライブラリー (03-5777-1919)

アクセス:港区芝大門2-10-12 定員:40名(先着順、申し込み不要)

参加費:資料費代1,000円 連絡問い合わせ先:03-3815-8127



安明哲(アン・ミョンチョル、안명철)

1969年2月22日咸鏡南道洪原郡で出生

1985年 咸鏡南道洪原郡高等学校卒業

1987~1994年 国家安全保衛部第11号、第13号、第22号、第26号政治犯収容所勤務

1994年9月 第22号会寧政治犯収容所から完全武装して政治犯二名を連れて脱出

1994年10月 大韓民国入国

1995~2009年 京畿道九里農協勤務

2009~2012年 古城統一展望台勤務

2013~現在 NK WATCH 代表

著書:『北朝鮮絶望収容所』(原題・彼らは泣いている)『完全統制区域』など

水上洋一郎(みずかみ よういちろう)

1941年9月20日 九州小倉生れ

1980年 埼玉大学大学院政策科学研究科修了  
政治学修士

1990年4月 内閣外政審議室内閣審議官

1994年4月 入国管理局難民認定室長

1996年4月 札幌入国管理局長

1998年4月 名古屋入国管理局長

2000年4月 東京入国管理局長

2002年3月 法務省退職

現在、公益財団法人日韓文化協会顧問

社会福祉法人さぼろと21 監事

社会福祉法人こころの家族評議員

一般財団法人日本語教育振興協会監事

国際人権法学会、移民政策学会所属







各駅の出口から人権ライブラリーまでの所要時間

- JR 山手線・京浜東北線 / 東京モノレール (金杉橋口から徒歩7~8分)
- 都営三田線 芝公園駅 (A3出口から徒歩3~4分)
- 都営大江戸線・浅草線 大門駅 (A3出口から徒歩4~5分)
- (北口から徒歩9~10分)



JR 山手線

東京駅から浜松町駅

JR 山手線外回り・品川・渋谷方面 6分

東京モノレール

JR 山手線



東京モノレール

羽田空港駅から浜松町駅まで

- 羽田空港国際線ビル駅発 快速13分
- 羽田空港第1ビル駅発 快速17分
- 羽田空港第2ビル駅発 快速19分